

庁内他部署や協力団体と連携し実施している事例

事例集

自治体名：岩見沢市

事業名称 岩見沢市健康ポイント事業（H26年度開始）

事業概要

※H30年度
事業費<3,670千円>

○事業目的

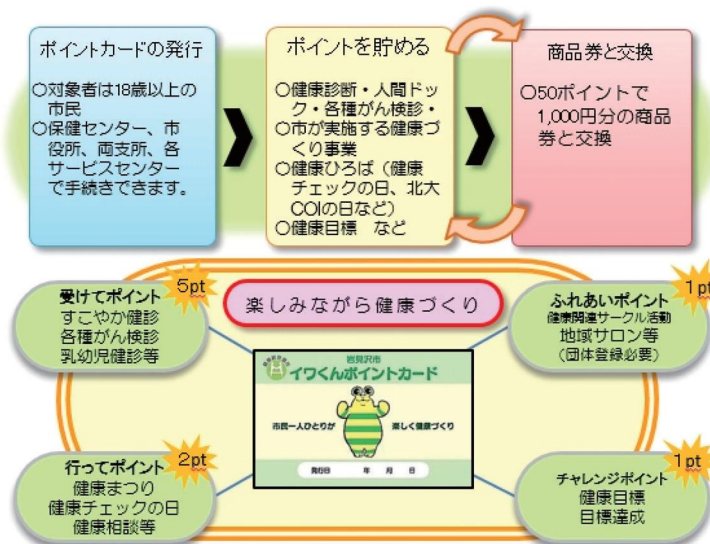
市民一人ひとりの健康づくりの取組みを推進し、健康寿命の延伸を目指す。

○事業内容

18歳以上の市民を対象として、特定健診、人間ドック、市が実施する健康づくり事業、献血、町会やサークルが行う健康づくりの取組み等にポイントを付与し、50ポイントで商品券（JCB商品券1,000円分）と交換できる。健康に関する意識が向上するとともに、ポイントが蓄積されることを実感できるため、楽しみながら健康づくりが実践できる。

事業の対象 ○岩見沢市に在住する18歳以上の者

事業イメージ



事業の特色

事業アイデア

○平成28年6月11日までは、ポイント達成時の報償が市内施設利用券という限定的なものであるため、新規申込者数が伸びないことが課題となっていたが、報償を商品券に見直した結果、参加者数の大幅な増加につながり、市民の健康づくりへの関心が高まった。

事業の実績等

○健康ポイント事業参加者数／交換枚数

平成26年度末	3,131人／14枚（施設利用券）
平成27年度末	4,144人／65枚（施設利用券）
平成28年度末	8,928人／79枚（施設利用券） ／421枚（商品券）
平成29年度末	12,742人／2,737枚（商品券）
平成30年度12月末	14,525人／3,520枚（商品券）

事業効果等

- 健康づくりへの関心を高め、健康的な生活習慣を定着。
- 認知症予防・介護予防・健康啓発。
- 市民の生きがいづくり。

特典の内容

【H26年6月29日～H28年6月11日】
市内施設利用券

【H28年6月12日～現在】
商品券（JCB商品券1,000円分）

ここがポイント！

市民一人ひとりが楽しく健康づくりを行い事業に参加できる。

事例集

自治体名：由仁町

事業名称

健康推進・地域活性化試行的事業

「～健診受けて、チケットもらって、まちで使おう～(KCM事業)」(H29年度開始)

事業概要

※H30年度
事業費<1,098千円>

○事業目的

健診受診を促すことで町民の健康の保持増進を図るとともに、町内の施設や商店等の利用を促進し町内経済の活性化を図る。

○事業概要

健診を受けた20歳以上の町民に対し、町内で利用できる割引チケットを交付する。

○対象の健診

特定健診、がん検診（胃、肺、大腸、子宮、乳）町で受けた健診のほか、職場等で受けた健診や人間ドックも対象。

○割引チケット

名称「げんきチケット」

1回の利用で1枚（200円）の利用ができる。

特定健診受診で5枚、がん検診受診で2枚加算。

ゆにガーデン年間パスポートを選ぶこともできる（チケット3枚分と交換）。

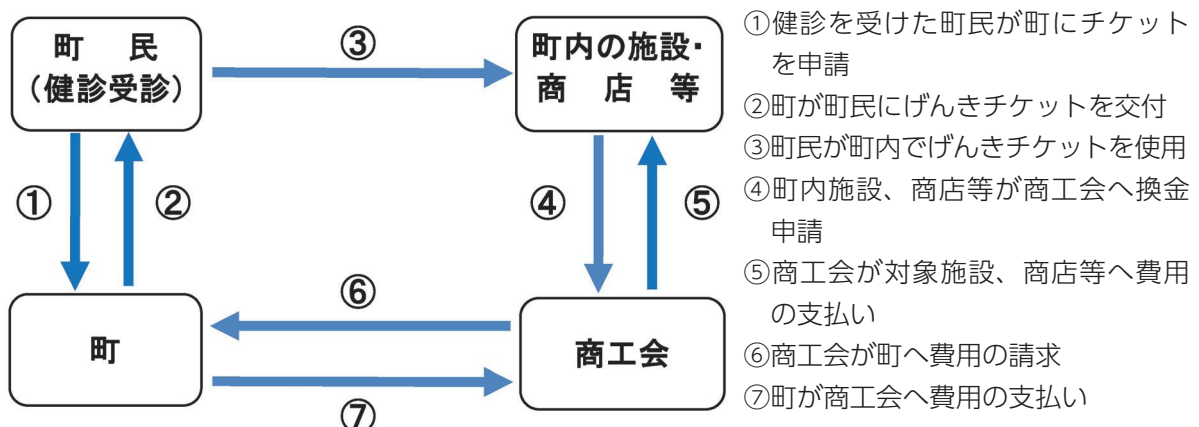
事業の対象

○20歳以上の町民

健康推進・地域活性化試行的事業

「～健診受けて、チケットもらって、まちで使おう～(KCM事業)」実施の流れ

事業イメージ



事業の特色

事業アイデア

- すべての町民を対象とするため、町以外（職場等）で受けた健診も結果提出することで可とした。
- 国保会計と一般会計の費用を区別するために、交付チケットの色分けをした。
- できるだけ多くの商店で使えるようにする為、商工会へ加盟している商店等への説明や支払い事務等を委託した。

事業の実績等

平成29年度

- チケット申請者 国保305名・後期高齢者74名・被用者保険97名
- 健診新規受診者 国保18名・後期高齢者13名

事業効果等

- 町内施設・商店等の利用促進。
- 継続受診者への報償。
- 新規健診受診者の増加。
- 被用者保険加入者の健診データの蓄積。
- 商工会との連携。
- 庁内関係部署との協力・連携。

特典の内容

- 町内施設、商店等で利用できる割引チケット（1回200円）。

ここがポイント！

- 町民の健康づくりの推進と、地域経済の活性化が同時に図れる。

事例集

自治体名：芦別市

事業名称 芦別ポイントカード行政連携事業（H29年度開始）

事業概要

※H30年度
事業費<254千円>

○事業の概要

市主催の事業に市民が参加した場合、Aカード（＝芦別ポイントカード協同組合がカード会員に発行したポイントカード）のポイントを付与。

市民参加の増加、加盟店舗における買物客及びポイントカード加入者の増加が期待される。

○連携事業

①健康運動講座「エクササイズレッスン」（所管：健康推進課健康推進係）

・生活習慣病の予防のため、ストレッチ、筋力トレーニング、ダンス、エクササイズなどを行い継続した運動習慣を身につける。

～対象者：昼コース～おおむね75歳未満で軽運動が行える方、
夜コース～おおむね70歳未満で軽運動を行える方

②地域まるごと元気アッププログラム（所管：介護高齢課地域包括支援係）

・健康運動指導士指導のもと、体力別クラスでの運動を行う。

～対象者：65歳以上の方

③高齢者ふれあいサロン～いきいき百歳体操（所管：介護高齢課地域包括支援係、委託業務）

・保健師等がサロンに出向き、介護予防についての講話や介護予防の運動などを指導する。

～対象者：65歳以上の方

④脳の健康教室「えがお塾」（所管：介護高齢課地域包括支援係、委託業務）

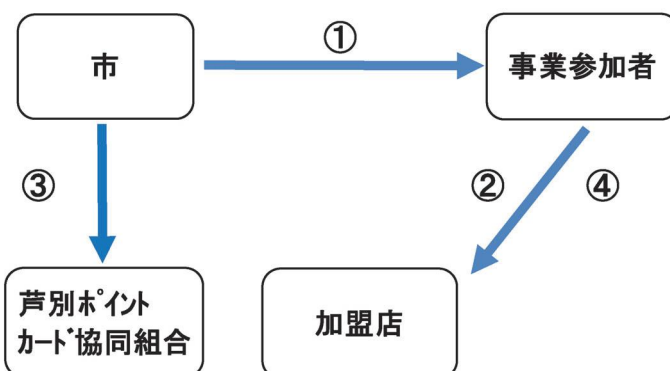
・頭の体操（簡単な読み書きと計算）、サロンと喫茶を行う。

～対象者：概ね65歳以上の方

事業の対象 ○上記のとおり

芦別ポイントカード行政連携事業実施の流れ

事業イメージ



①市主催の事業の参加者にどこでもポイント券をわたす。

②どこでもポイント券を加盟店に持参し、Aカードにポイント加算。

③ポイント加算分の金額を負担

④加盟店でお買い物の支払いに利用できる

事業の特色

事業アイデア

- 芦別ポイントカード協働組合と市の行政連携事業として実施。
行政連携事業を活用することにより、運動習慣の継続に結び付ける。

事業の実績等

- 平成29年度
 - ①健康運動講座
(11月からポイント付与)：参加者11月～3月延べ261人
 - ②地域まるごと元気アッププログラム・高齢者ふれあいサロン・えがお塾
(9月からポイント付与)：参加者11月～3月延べ3,215人
- 平成30年度
 - ①健康運動講座：参加者4月～11月まで延べ208人
 - ②地域まるごと元気アッププログラム・高齢者ふれあいサロン・えがお塾
：参加者4月～11月まで延べ4,434人

事業効果等

- 参加者からは「運動するだけでポイントがもらえるので嬉しい」との声が聞かれ好評であり、運動を始めるきっかけ、継続した運動習慣を身に着けることに寄与している。

特典の内容

- 1回の参加につき20ポイントを付与（1ポイント1円）。
ポイントカード加盟店において、お買い物の支払いに利用できる。

ここがポイント！

- 健康の増進とともにポイントでお買い物ができる。

事例集

自治体名：苫小牧

事業名称 地方創生地域コミュニティ活性化支援事業(とまチョップポイント) (平成28年度開始)

事業概要

※H30年度
事業費<37,917千円>

○事業目的

苫小牧市総合戦略の基本目標のひとつ「地元の魅力強化、暮らしやすさ発信で移住を促進」の事業として、「地域完結型のポイント」を活用し、市外への買物流出を抑制することで、地域経済の活性化を図るとともに、社会貢献活動や健康増進事業等の市主催の事業(イベント)で、ポイントを発行することで、市の施策の活性化にも繋げるものである。

○実施に至る背景・目的

市議会質疑の中で、他の自治体で行われていた「健康マイレージ(ポイント)」の導入について議論が交わされ、導入に向けて検討を進めていたところ、システム提供会社から提案があり、総合戦略の施策の一環として実施に至った事業である。

○実施内容

- ①市内の加盟店で現金で買物をした際に「100円(税別)につき1ポイント」を付与。
- ②市の事業への参加、公共施設を利用した際にもポイントを付与。
- ③たまったポイントは加盟店での支払時に「1ポイント=1円」として利用可能。

事業の対象 ○カード所有者(小学生以上)

事業イメージ



※図にある「ポイントの寄附」は導入を検討中。

事業の特色

事業アイデア

- 買い物だけではなく、市のイベント（がん検診や特定健診、市民健康教室など）への参加や公共施設の利用でもポイントがたまる。
- 地元の加盟店でしか利用できないため、ポイントが市外に流出することがない。

事業の実績等

- 加盟店舗数：219店舗
- カード発行枚数：約4万6千枚
- ポイント付与実績：約800万ポイント（平成29年度）

事業効果等

- 地域経済の活性化。
- 市の事業への関心を高める。
→各種検診の受診率向上・健康講座への参加者の増

特典の内容

- ためたポイントを「1ポイント＝1円」として加盟店で使用可能。
- 人気チケット（駒澤大学附属苫小牧高等学校吹奏楽局の演奏会）をポイントで購入することができる。

ここがポイント！

- 事業アイデアのとおり

事例集

自治体名：浦河町

事業名称 健康マイレージ事業（H29年度開始）

事業概要

※H30年度
事業費<1,950千円>

○事業の趣旨

北海道健康マイレージ事業及び協賛企業と協働し、浦河町民の健康づくりへの動機づけを促進する環境整備を行い、健康に配慮した生活習慣を身に付けるきっかけを作ることにより、健康づくりへの無関心層を掘り起こし、各種健康診断・がん検診等の受診率向上や肥満者の減少、運動習慣者の増加などに繋げ、健康寿命の延伸を図ることを目的とする。

○事業内容

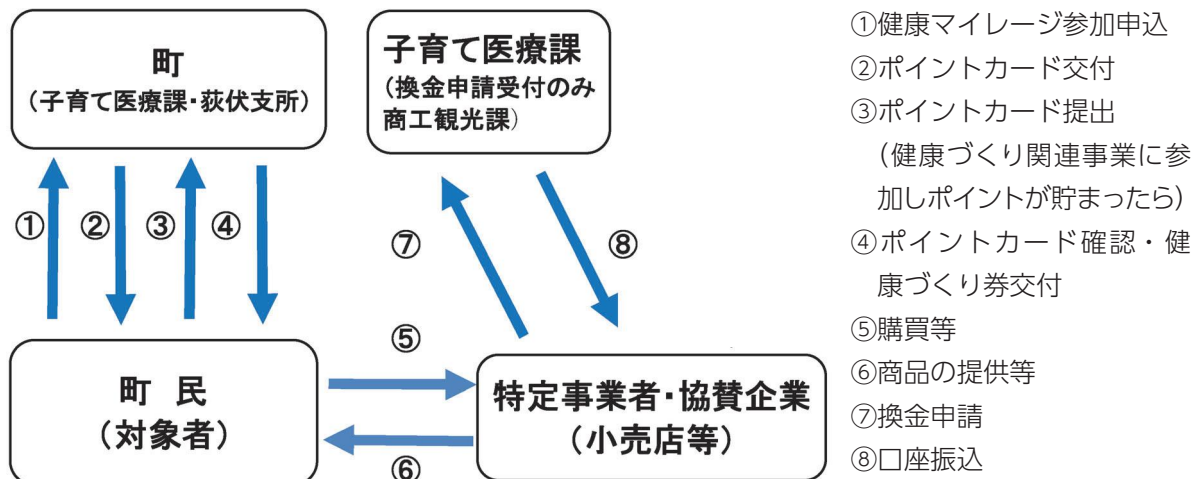
各種健診事業や浦河町が実施する健康づくり関連事業（健康に関する教室や講習会等）、スポーツ関連事業（教室、大会等）、介護予防事業（健康道場等）の対象事業をポイント化し、ポイントを達成すると地域商品券（すくすく健康づくり券）を交付する。

5ポイント達成で地域商品券1千円分、6ポイント達成で地域商品券3千円分を交付。

事業の対象 ○浦河町内に住所を有する20歳以上の者

健康マイレージ事業 実施の流れ

事業イメージ



事業の特色

事業アイデア

- 道及び協賛企業の協同事業として実施。
- 地域企業の活性化を図るため、町内の「すくすく健康づくり券登録店」での買い物に使用できる地域商品券を特典として交付。
- 幅広い年齢層（20歳～）の住民が参加しやすい対象事業を選定。

事業の実績等

- 平成29年度
 - ①参加者数（マイレージ登録者数）：1,155人
 - ②ポイント達成者数：777人
 - ③達成率：67.2%

事業効果等

- 健康づくりへの動機づけを促進。
- 健康に配慮した生活習慣を身に付けるきっかけ作り。
- 各種健康診断・がん検診等の受診率向上、肥満者の減少、運動習慣者の増加。
※市町村各種がん検診受診者数
平成28年度：2,735人 → 平成29年度：3,044人

特典の内容

- すくすく健康づくり券（浦河町内の協賛企業での買い物に使用可能）

ここがポイント！

- 地域企業の活性化を図るため、町内の「すくすく健康づくり券登録店」での買い物に使用できる地域商品券を特典として交付している。

事例集

自治体名：福島町

事業名称 ふくしま健康ポイント制度（平成28年度開始）

事業概要

※H30年度
事業費<100千円>

○事業目的

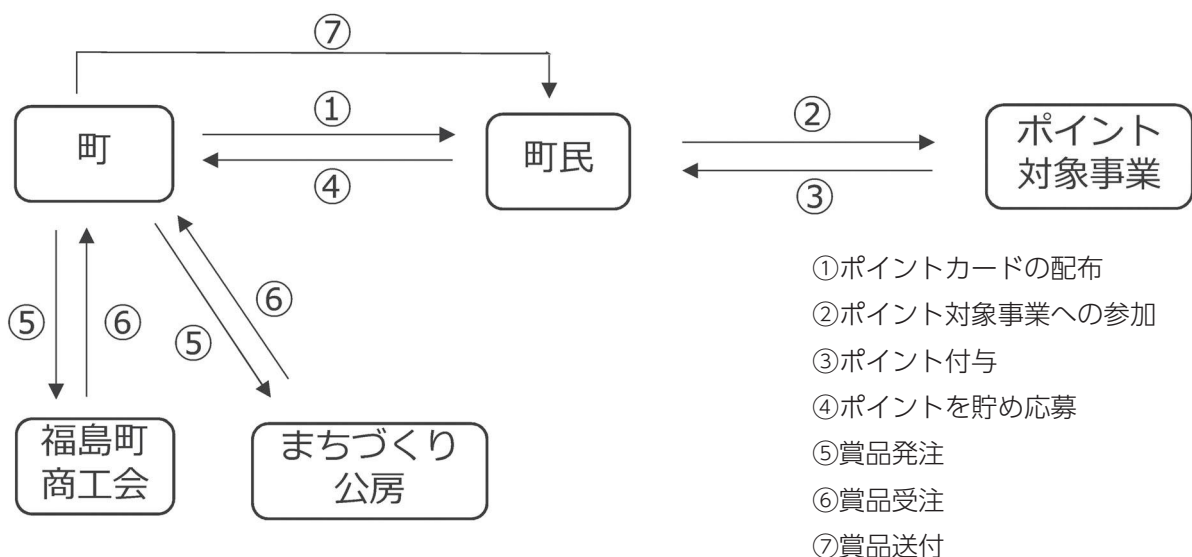
平成28年度よりがん対策基本条例を施行し、がん検診の無料化をはじめ、検診受診率を高める手段の一つとして本制度を実施。

○事業概要

特定健診・各種がん検診・各種健康づくり事業等に参加した場合にポイントが付与され、100ポイントまたは50ポイント貯めると賞品がもらえる。
(賞品内容については「特典の内容」参照のこと)

事業の対象 ○町内に住所を有する者（全町民）

事業イメージ



事業の特色

事業アイデア

○各種がん検診については、町が行うがん検診（集団検診）を受診した場合だけでなく、個別検診で受診した場合もポイントが付与される。

事業の実績等

○ポイント達成者数（応募者数）
平成28年度：A賞（100ポイント以上） 34名
 ：B賞（50ポイント以上） 14名
平成29年度：A賞（100ポイント以上） 99名
 ：B賞（50ポイント以上） 38名

事業効果等

○各種がん検診、特定健診等の受診率の向上。
○未受診者へのきっかけ作り。
○町民の予防意識の向上及び普及啓発。

特典の内容

○平成30年度
【100ポイント以上】
特賞：町内商品券3,000円分&町内温泉入浴券12枚（抽選10名）
A賞：町内商品券1,000円分&町内温泉入浴券12枚（抽選70名）
【50ポイント以上】
B賞：町内温泉入浴券2枚（特賞・A賞に当選しなかった方全員にも配布）

ここがポイント！

○応募者全員にいずれかの賞品を配布することとした。

事例集

自治体名：天塩町

事業名称 天塩町ハローシール会ポイント補助金事業（H28年度開始）

事業概要

※H30年度
事業費<700千円>

※事業の実施主体及び予算確保は天塩町企画観光課。

○事業目的

健康づくり等の取り組みや成果に対してポイントを交付し、住民による予防・健康づくりの取り組みを推進する。（個人へのインセンティブの提供）

○取り組みの特徴

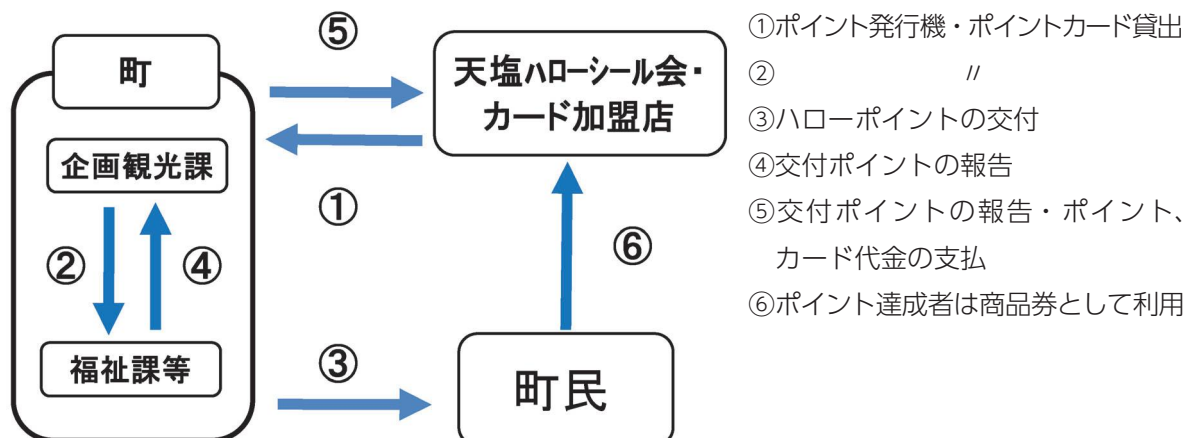
企画観光（商工）部門と連携を取り、各種健診（検診）の受診者や保健指導、運動教室、福祉・保健事業等へ参加した者に対し、天塩ハローシール会で実施している“ハローカード”へポイントの交付を行っている。1カード500ポイントが貯まると500円の商品券となり、町内の一部加盟店で利用ができる。

20・50・100Pのいずれかの交付となるため還元率も高く、地域に根付いているポイントカードを健康マイレージとして活用することで、日常生活の買い物や食事、町の健康事業でも利用できる点が特徴。

福祉課の事業だけでなく教育委員会の事業（運動教室等）でもポイント付与を行っており、様々な部署が連携して行っている。

事業の対象 ○天塩町の福祉・保健事業等対象者

天塩町ハローシール会ポイント補助金事業実施の流れ



事業イメージ

事業の特色

事業アイデア

- 天塩ハローシール会と提携し事業実施。
- 元々地域で利用されているポイントカードを健康マイレージとして活用することで、日常生活の買い物や食事、町の健康事業でも利用できる。

事業の実績等

- 交付人数（福祉課事業以外も含む）
平成28年度：100P-696名、50P-608名、20P-2,835名
交付人数合計：4,139名 利用額：約32万9千円
平成29年度：100P-585名、50P-369名、20P-2,689件
交付人数合計：3,913名 利用額：約27万7千円
- ポイント交付事業数
37事業（100P-15事業、50P- 7事業、20P-15事業）

事業効果等

- 各種事業に参加することで「ポイントが交付される」という認識が定着してきている。
- 健診受診や健康づくりに関する事業参加への動機付け、受診者・参加者の増加。

特典の内容

- 1カード500ポイントが貯まると500円の商品券となり、町内の一部商工会加盟店（飲食店・商店等）で利用できる。

ここがポイント！

- 地域に根付いたポイントカードを活用し、交付ポイントも高い。

事例集

自治体名：初山別村

事業名称 健康づくり等実践活動推進事業（チャレンジマイレージ）（平成24年度開始）

事業概要

※H29年度当初
事業費<200千円>

○事業目的

村民自らが健康の保持・増進に取り組み、社会参加や文化・芸術にふれながら、心身ともに健康で生きがいのある生活を送るための支援事業を実施することにより村民の健康と福祉の増進を図ることを目的としている。

○ポイントのつけ方

健康づくりや社会活動に応じてポイント（1ポイント＝5円）を取得することができ1日の活動で最大5ポイント取得できる。

- ①加算ポイントとして5人1組でチーム参加の場合、参加チームに300ポイントを加算。
- ②社会教育団体、文化団体、社会体育団体に加入した場合は30ポイントを加算。
- ③各種がん検診や総合健診を受けるといずれか1種目につき100ポイントを加算。

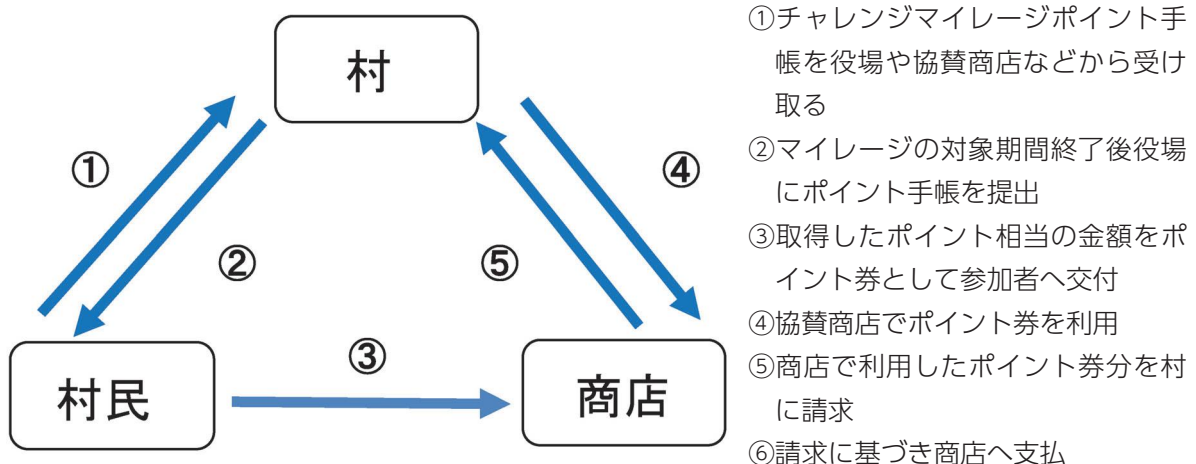
○事業の特徴

- ①自分のタイミングで活動しポイントを増やすことができる。
- ②運動があまり得意でない方でも文化事業・町内イベント等参加するだけでもポイントがたまる。

事業の対象 ○村内在住の18歳以上の方（高校生は除く）

健康づくり等実践活動推進事業（チャレンジマイレージ）実施の流れ

事業イメージ



事業の特色

事業アイデア

○18歳以上の村民なら誰でも参加でき、自らの意志によって健康づくりや社会活動に参加したものにポイントを付与し、ポイント管理を参加者が責任をもって行う。

事業の実績等

- 総参加人数 55名 (男16名 女39名)
 - 個人参加 20名 (男 6名 女14名)
 - 団体参加 7チーム35名 (男10名 女25名)
 - ポイント券への交換金額 (個人参加) 合計36,700円
 - ポイント券交換用 (チーム参加) 合計53,600円
 - 寄附用 (個人) 合計 2,000円
- ※平成29年度実績

事業効果等

- 健康づくりの動機付けを促進し、健康に配慮した生活習慣を身に付けることで健康づくりへの無関心層を掘り起こす。
- 各種がん検診・総合健診等の受診率向上、運動習慣者の増加。
- 文化及び芸術活動への参加増進。
- 町内会やボランティア、村が主催する会議や事業の参加の延長。
- 高齢者のひきこもり防止。

特典の内容

- 貯めたポイント数に応じて村内の商店等で使えるポイント券 (買い物券) として交付。
また、ポイント券を次の団体に寄附することもできる。
～保育所・各小中学校・村社会福祉協議会・初山別風連別学園

ここがポイント!

- 参加者自らポイントを付与することができ、健診を受ければその受診料の半額相当になる100ポイント (500円分) を取得できる。

事例集

自治体名：羽幌町

事業名称 羽幌町健康マイレージ事業（H30年度開始）

事業概要

※H30年度
事業費<525千円>

○事業目的

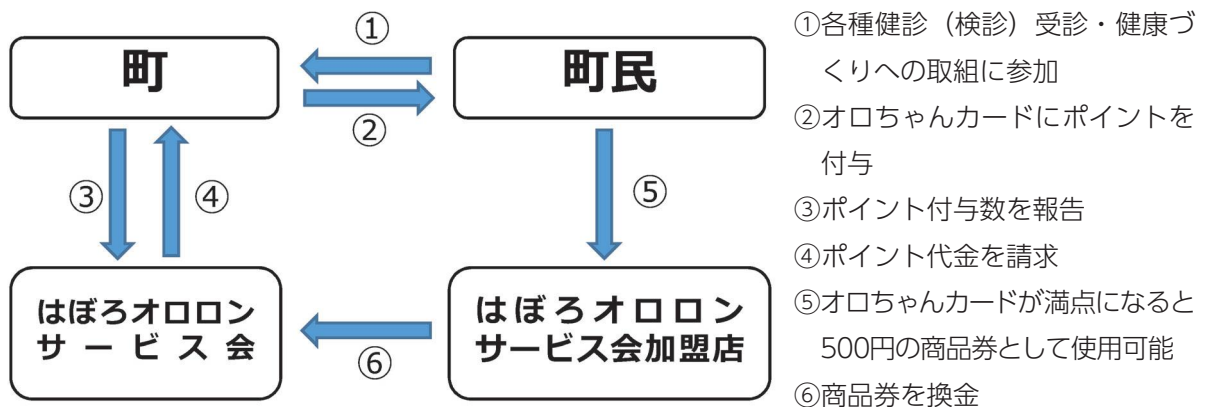
町民の健康づくりへの動機付けを促進し、健康に配慮した生活習慣を身に付けるきっかけを作ることで、健康づくりへの無関心層を掘り起こし、健診の受診率向上やメタボリックシンドロームの改善、運動習慣者の増加などに繋げ、健康寿命の延伸を図るとともに、医療費抑制に寄与することを目的に、平成30年度より開始した。

○事業の特徴

町民の健康増進を図るとともに、町内商店街で使用できる既存のポイントカードを利用することにより、町内商店街の活性化にもつながる事業となっている。

事業の対象 ○町内に住所を有する20歳以上の者

羽幌町健康マイレージ事業実施の流れ



事業の特色

事業アイデア

○地元商店街で使用できる既存のポイントカードを使用することにより、町民が特典を利用する際の自由度が高くなり、町にとっても事業実施に係る初期費用を軽減できる。

事業の実績等

○ポイント付与数及び参加延人数【H30.12.20現在】
50ポイント（1,849名）・25ポイント（957名）
合計 116,375ポイント（2,806名）
～50ポイント：特定健診・住民健診、各種がん検診受診等。
～25ポイント：各種検診受診、保健師等が講師として行う出前講座を受講等。

事業効果等

○健康づくりへの無関心層を掘り起こす。
○町民一人ひとりが健康に配慮した生活習慣を身につけるきっかけ作り。
○町民の健康管理と同時に地元商店街の活性化を図る。

特典の内容

○地元商店街で使用できる既存のポイントカードにポイントを付与。
○ポイントカードが満点になると500円の商品券として使用できる。

ここがポイント！

○町民が特典を利用する際の自由度が高い。

事例集

自治体名：枝幸町

事業名称 枝幸町健康マイレージ事業（平成30年度開始）

事業概要

※H30年度
事業費<150千円>

○事業の目的

町民の主体的な健康づくりを促進するため、健康事業等の利用者にマイレージポイントを付与することにより、町民の健康意識及び健康診査等の受診率が向上し、健康の保持増進や医療費の適正化を図ること。

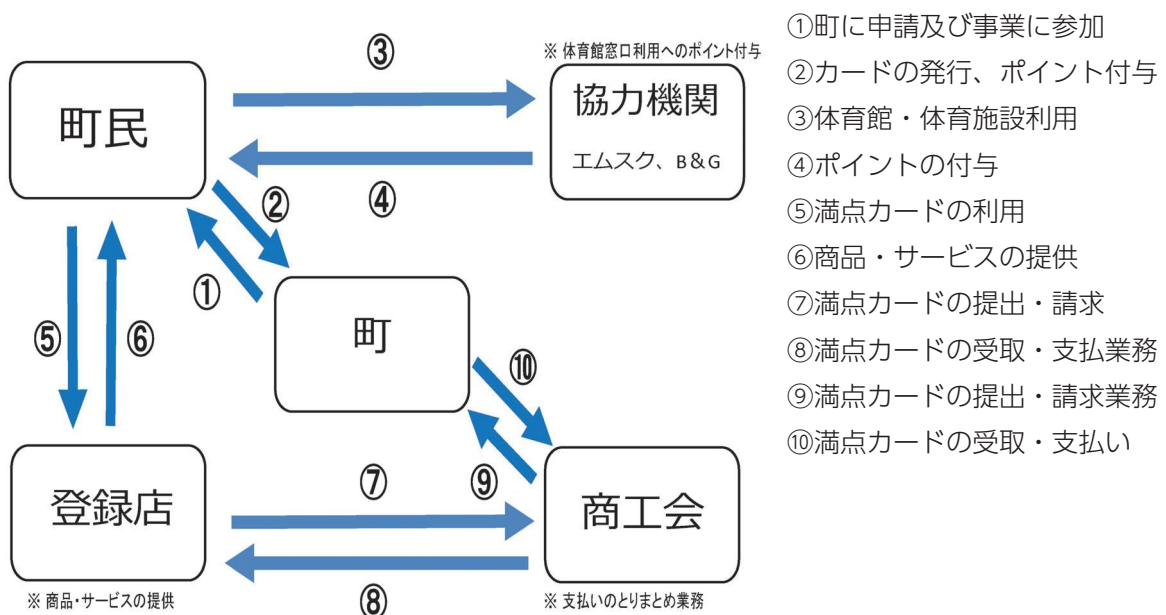
○取組の特長

町民の主体的な健康づくりを支援する観点から、特定健診・保健指導、がん検診、健康づくり教室、体育施設等を利用した場合にポイントを付与。10ポイント貯めると500円の商品券として使えるポイントカードを発行している。

※ポイントカードは登録店で直接利用できるようにし、支払いの取りまとめを商工会にお願いしている。

事業の対象 ○町内に住所を有し、かつ居住する20歳以上の者。

枝幸町健康マイレージ事業実施の流れ



事業イメージ

事業の特色

事業アイデア

- 町内で登録店を募り、ポイントカードをそのまま商品券として活用できるようにし、参加者が利用しやすいようにした。
- 登録店の負担が減るよう、カードの取りまとめを商工会にお願いした。
- カードは個人に発行するが、同一世帯で合算することが出来るようにした。
- 個人的に健康づくりに取り組んだ場合も、アプリや記録紙等で証明できた場合、1ヶ月ごとに2ポイント付与できるようにした。

事業の実績等

(平成31年1月21日現在)

- 申請者数：272名
- 登録店舗数：57店舗
 - ※平成31年度も同様に実施。保健事業以外と組み合わせて、より効果的に実施できないか、今後検討予定。

事業効果等

- 健康づくりへの無関心層のきっかけづくり。
- 実行期、維持期のモチベーション維持。
- 特定健診受診率、特定保健指導実施率（継続率の増加）。
- 運動習慣のある者の増加。
- 体育施設等の利用促進。

特典の内容

- ポイントカード10点を貯めると、登録店にカードを渡すと500円相当の商品かサービスを受けることができる。

ここがポイント！

- 決められた特典ではなく、登録店で自由に選べるようにした。

事例集

自治体名：幌延町

事業名称 いきいきブルピーポイント事業（H28年度開始）

事業概要

※H30年度
事業費<147千円>

○事業目的

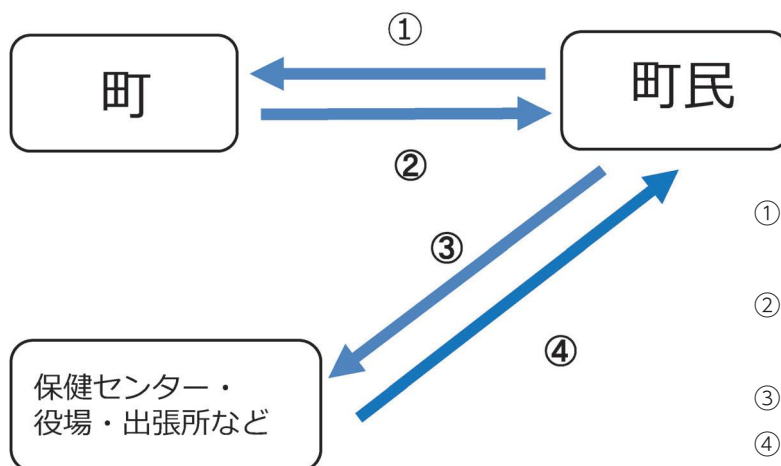
町民が、自らと家族の健康を守る意識を高め、健康づくりと健康なまちづくりに取り組めるよう支援することを目的とする。

○事業概要

平成28年度より、町が実施する保健事業、介護予防事業、子育て支援事業、ボランティア活動等に参加した町民を対象に、いきいきブルピーポイントカード（台紙）とポイントシールを付与。ポイント数に応じて町の指定ごみ袋と交換できる制度を開始した。ポイントを交換した方は、平成28年度は延べ45名だったが、平成29年度は延べ85名と住民への認知度は高まっている。

事業の対象 ○町内に住所を有する町民

いきいきブルピーポイント事業実施の流れ



- ①町が実施・共催・後援する各種事業に参加
- ②対象事業に応じブルピーポイントを付与
- ③ポイント数に応じたごみ袋と交換
- ④ごみ袋を交付

事業イメージ

事業の特色

事業アイデア

- 対象となる事業を単に保健事業のみではなく、ごみ拾いなどのボランティアや講演会への参加、親子料理教室や子育て支援など、幅広い層の町民に参加してもらえるようにしている。
- ポイントを集めると、町で使用している指定ごみ袋と交換することができ、2ポイントから交換ができるようにしたことで、1回の参加でもポイントを集めるメリットがでるようにした。

事業の実績等

- 平成28年度ポイント交換者 延45名
- 平成29年度ポイント交換者 延85名
- 平成30年度ポイント交換者 延86名（平成30年12月末現在）
- ポイントの付与件数については集計していないが、1回につき1～2ポイントの付与で、平成29年度は1,288ポイントの交換があった。

事業効果等

- 健康づくりへの無関心層の掘り起こし。
- 町民一人ひとりの健康的な生活習慣を身に着けるためのきっかけ作り。
- 各種健診、がん検診等の健診率向上。

特典の内容

- 各種事業の参加により、1ブルピーポイント（献血、スポーツ大会等）又は2ブルピーポイント（健康診査、がん検診、健康教室等）を付与し、ポイント数によって町内で使える指定ごみ袋と交換できる。
（2ポイント～28ポイント）

ここがポイント！

- 対象に年齢などの制限を設けず、参加した町民すべてにポイントを付与した。

事例集

自治体名：網走市

事業名称 あばしり健康マイレージ事業（H28年度開始）

事業概要

※H30年度
事業費<900千円>

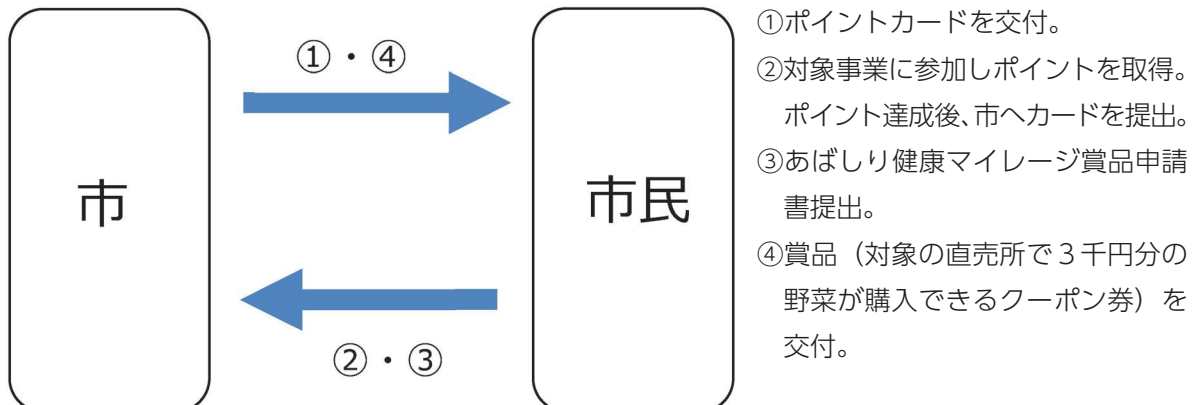
○事業目的

市民の健康に対する意識の向上を図るため、健康関連事業等に参加した対象者にポイントを交付し、特定のポイント数を達成した方に賞品等を贈呈するもの。ひいては、市民の医療費の削減に繋げることを目的とする（特定健診受診率向上対策）。

事業の対象 ○40歳以上の網走市民（平成31年3月31日までに40歳になる方を含む）

あばしり健康マイレージ事業実施の流れ

事業イメージ



事業の特色

事業アイデア

○地産地消と市が推進するベジラブル運動^{*}の観点から賞品を地元産の野菜とした。

^{*}「あばしりベジラブル運動」

野菜を使った料理をより多く食べてもらうことで、糖尿病や高血圧といった、生活習慣病になってしまう事を防ぐために、網走市で推進している運動。

事業の実績等

○ポイント達成者数

平成28年度：83名 平成29年度：153名

事業効果等

○市民の健康に対する意識の向上を図る。

○市民が健康に配慮した生活習慣を身につけるきっかけ作り。

○特定健診、健康診査、人間ドック、脳ドック、各種がん検診等、健康関係事業の受診率向上を図る。

特典の内容

○地元産の野菜が購入できるクーポン券（3,000円分）

ここがポイント！

○健康講演会やインフルエンザ予防接種、パークゴルフ大会等のポイント対象事業を幅広く設け、参加しやすくし、ポイントを貯めやすいようにした。

事例集

自治体名：美幌町

事業名称 美幌町健康マイレージ事業（H29年度開始）

事業概要

※H30年度
事業費<80千円>

○事業目的

健康づくりへの無関心層を掘り起こし、健康診断やがん検診等の受診率向上へ繋げ、健康に配慮した生活習慣を身につけるきっかけ作りを行うことで、町民の健康意識の向上を図り健康寿命の延伸を目指す。

○取組の特徴

平成29年度は北海道が実施する北海道健康マイレージ事業を実施。

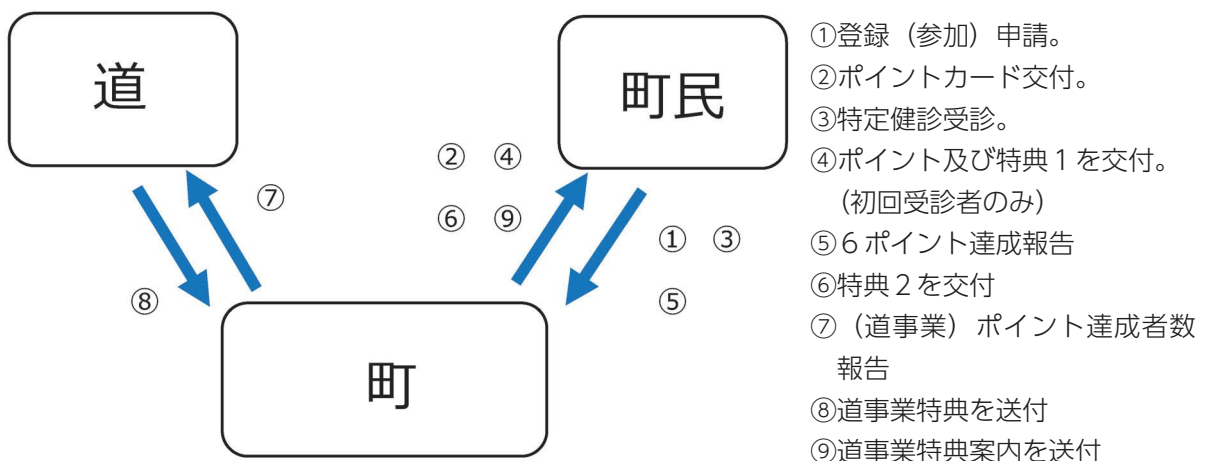
平成30年度は町独自に特典品を加えて実施。特定健診初回受診者へは、ポイントと特典（特典1）が該当、6ポイントがたまったら段階で特典（特典2）該当として実施。

また、運動習慣者増を図るため、町で作成したウォーキングマップ達成者もポイント対象とした。

事業の対象 ○20歳以上の町民

美幌町健康マイレージ事業実施の流れ

事業イメージ



事業の特色

事業アイデア

○特定健診初回受診者増とマイレージ参加者増を目的に、町独自の特典を追加実施。

<町独自の特典>

- ①特定健診初回受診者及び過去2年間未受診で特定健診受診者に対しポイントと特典を健診受診時に交付。
- ②健康ポイント6ポイント達成者に対し、カード提出時に特典を交付。

事業の実績等

○平成29年度

- ①事業参加者数（ポイントカード交付数）：340名
- ②ポイント達成者数：161名

○平成30年度

- ①事業参加者数（ポイントカード交付数）：538名（内特典1達成者：79名）
- ②ポイント達成者数：238名

※平成30年度は12月末現在

事業効果等

○健康づくりへの無関心層を掘り起こす。

○健康づくりに配慮した生活習慣を身につけるきっかけ作り。

○健診結果説明会来所率の増加。

- ※ポイント達成のため来所者が増加し保健指導、栄養士相談の利用者が増加。
→健診結果を生かした健康づくりへつながった。

○ポイントをためるため、受ける健（検）診の種類が増加。

特典の内容

○北海道健康マイレージ事業協賛企業から提供を受けた食品等
平成30年度

1の特典+町の特典

特典1：カロリー茶碗、健康タオルセット、マスク等から選択。

特典2：歯ブラシ、入浴剤、ハンドソープ等から選択。

ここがポイント！

特定健診初回受診者へは、健診会場で特典を渡し、受診のメリッ
ト感UP。

事例集

自治体名：幕別町

事業名称 まくべつ健康ポイントラリー（H28年度開始）

事業概要

※H30年度
事業費<244千円>

○事業目的

- ・ 健診を受けてもらうきっかけづくり（新規受診・継続受診）。
- ・ 若年層（20歳から）健康に関心を持ってもらうきっかけ作り。
- ・ 自分の健康状態を知り、健康づくりに取り組むきっかけ作り。

○事業経過

町民の健康寿命の延伸のため、平成28年11月から北海道が実施する北海道健康マイレージ事業に参加して取り組んできた。健康意識及び健診受診率が向上し、医療費の抑制につながるよう、平成29年度から、40歳代、50歳代の健診受診や、若年層からの健康づくりに取り組むきっかけ作りとして町独自に特典を増やし、集団検診や健康講座等で周知と参加を促した。

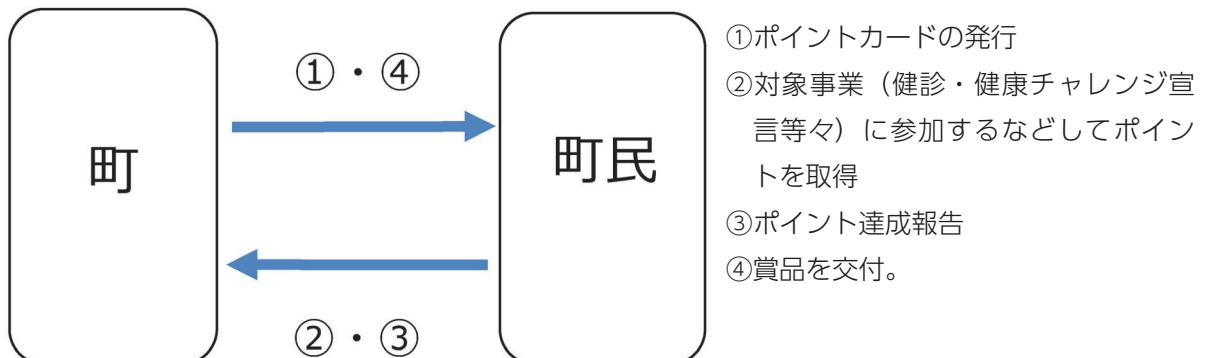
平成30年度からは、これまで同様に周知を徹底するとともに、ポイントカードを手に入れやすいよう、申請書不要とし、公共施設や対象事業参加時に配布する。

また、自分の健康意識を高めるきっかけになるよう、健康づくりの目標である「健康チャレンジ宣言」をポイントカードに記入し、実践していくことでポイントを付与する。

事業の対象 ○町内に住所を有する20歳以上の者

まくべつ健康ポイントラリー事業実施の流れ

事業イメージ



事業の特色

事業アイデア

- 全てのポイントカードに抽選番号を付して発行。カード上方には説明文を記載し、下方に切り取り線を入れ、切り取って財布に入るサイズとすることで、持ち運び易いポイントカードとした。
- 達成時、ポイントカードに「氏名」「生年月日」「電話番号」「アンケート」を記載して頂いた上で回収。引き替えに抽選番号が付された達成証を交付。
- 役場だけでポイントを付与するのではなく、トレーニング室等（スポーツセンターやトレーニングセンターなど）でもカードやポイントの交付をすることで、継続的に事業に参加することにつながっている。
- 健康講座、運動講座、各種イベント、スポーツ施設利用などにより、多彩な機会にポイントを得られるようにしていく（健診（必須）・がん健診・歯科健診の受診で2ポイント、※健康チャレンジ宣言（必須）・宣言達成・健康講座や運動講座の利用で1ポイント取得可能）。
※健康チャレンジ宣言：「今より5分長く歩く」など自身で健康づくりの目標を設定し記載。
- 集団検診時は、その場でポイントが付与出来るように専属スタッフを配置。

事業の実績等

- ポイント達成者数
平成28年度：参加者 59名 達成者 50名
平成29年度：参加者 1,107名 達成者 814名

事業効果等

- 健診・検診を受けるきっかけ作りになっている。
- 運動習慣や目標を立てることにより、健康意識が高まり、また、目標達成することで、ポイントが貰えるように達成に向けて行動することにつながっている。
- トレーニングセンター・スポーツセンターの利用や、健康講座等の参加や運動をする習慣付けの、きっかけ作りとなった。

特典の内容

- 達成者全員に町指定ゴミ袋10ℓ 10枚入り1セット
- 平成29年度は抽選で商品券を、平成30年度は町特産物を交付（予定）。

ここがポイント！

- 集団検診時、まくべつ健康ポイントラリーの参加勧奨を実施。
また、その場でポイントが貯まる専用ブースを設けている。

